

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【公表番号】特表2009-525942(P2009-525942A)

【公表日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-028

【出願番号】特願2008-554389(P2008-554389)

【国際特許分類】

C 0 3 C 3/091 (2006.01)

C 0 3 C 3/095 (2006.01)

G 0 2 F 1/1333 (2006.01)

【 F I 】

C 0 3 C 3/091

C 0 3 C 3/095

G 0 2 F 1/1333 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月22日(2010.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】

ダウンドロー法によりアルカリを含まないガラスシートを製造する方法であって、バッチ材料を選択し、溶融し、そして清澄する各工程を含み、前記シートを構成するガラスが、 $\text{SiO}_2$ 、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ 、 $\text{B}_2\text{O}_3$ 、 $\text{MgO}$ 、 $\text{CaO}$ および $\text{BaO}$ を含み、かつ酸化物基準において、

( i ) 2 . 0 モルパーセント以上の  $\text{MgO}$  含量、

( i i ) 3 . 0 モルパーセント以上の  $\text{CaO}$  含量、および

( i i i ) 1 . 0 モルパーセント以上の  $\text{BaO}$  含量

を含み、ここで、

( a ) 前記ガラスが、1 . 1 5 以上の  $(\text{MgO} + \text{CaO} + \text{SrO} + \text{BaO}) / (\text{Al}_2\text{O}_3)$  比を有し、式中、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ 、 $\text{MgO}$ 、 $\text{CaO}$ 、 $\text{SrO}$ および $\text{BaO}$ は、各酸化物成分のモルパーセントを表し、

( b ) 前記清澄を、大量のヒ素を用いず実施し、

( c ) 溶融および清澄したバッチ材料から前記ダウンドロー法により製造された 5 0 枚の連続したガラスシートの集合体の平均ガス含有レベルが、0 . 1 0 ガス含有 / 立方センチメートル未満であり、前記集合体の各シートの体積が、少なくとも 5 0 0 立方センチメートルであることを特徴とする方法。